

# 航跡

## 60周年記念年表



神奈川県セーリング連盟

Kanagawa Prefecture Sailing Federation Since 1949

1946・昭和21

第1回国民体育大会 滋賀大会開催

1947・昭和22

第2回国民体育大会 石川大会開催

1948・昭和23

第13回全日本学生ヨット選手権大会開催（横浜・貯木場沖）  
第14回ロンドンオリンピック大会開催  
第3回国民体育大会 福岡大会開催

### 神奈川県ヨット連盟設立

1949・昭和24

第4回国民体育大会 東京大会開催（横浜・本牧沖）  
第1回関東高等学校ヨット選手権大会開催（横浜港）  
横浜ヨットハーバーにクラブハウス完成  
第2回横浜開港市民ヨット競技大会開催  
横浜市ヨット連盟設立

1950・昭和25

第5回国民体育大会 愛知大会開催 天皇杯獲得  
第1回神奈川三大学定期戦開催  
横浜ヨットハーバーが米軍の接収を解除される  
戦後初の外洋レース、大島レース開催（横浜→大島岡田港）  
横須賀ヨット協会設立  
日本ヨット協会会長に関谷健哉就任  
日本ヨット協会が国際ヨット競技連盟（IYRU）に復帰する  
第6回国民体育大会 広島大会開催

1952・昭和27

第1回神奈川四大学定期戦開催  
第1回日本外洋レース開催（横浜→清水）  
第15回ヘルシンキオリンピック大会開催（戦後日本が参加する初のオリンピック）  
第7回国民体育大会 宮城大会開催

1953・昭和28

第8回国民体育大会 香川大会開催  
ヨットの適用規則（1952版）が変更され、和訳が完了適用される

1954・昭和29

第9回国民体育大会 北海道大会開催 天皇杯、皇后杯獲得  
全日本学生ヨット連盟設立  
日本オーシャンレーシングクラブ（NORC）発足

1955・昭和30

第10回国民体育大会 神奈川大会開催（葉山）皇后杯獲得、天皇杯2位  
第1回全日本実業団ヨット選手権大会開催（琵琶湖）

1956・昭和31

第11回国民体育大会 兵庫大会開催 天皇杯3位、皇后杯2位  
第1回神子元島レース開催（葉山→神子元）  
第1回初島レース開催（横浜→初島）  
第16回メルボルンオリンピック大会開催（視察員2名派遣）

1957・昭和32

第12回国民体育大会 静岡大会開催 天皇杯、皇后杯獲得

1958・昭和33

第13回国民体育大会 滋賀大会開催 天皇杯、皇后杯獲得  
日本ヨット協会報発行



初代会長 千野 純次  
副会長 吉川 憲治  
吉川 清  
理事長 柳下 達之



● 第1次吉田内閣発足 ● 日本国憲法公布

● 古橋広之進400m自由形で世界新記録

● 海上保安庁設置法公布

● 湯川秀樹日本初のノーベル賞受賞（物理学賞）

● 朝鮮戦争勃発

● サンフランシスコ講和条約・日米安全保障条約締結

● 白井義男ボクシング世界フライ級タイトルマッチで日本人初の世界選手権獲得

● ヒラリーとランジンがエレベーター初登頂に成功

● 電気洗濯機、冷蔵庫、掃除機が三種の神器と呼ばれた

● 神武景気始まる（57年頃）

● 日本、国際連合に加盟

● ソ連の人工衛星スプートニク1号打上げ成功

● 東京タワー竣工

1968・昭和43	1967・昭和42	1966・昭和41	1965・昭和40	1964・昭和39	1963・昭和38	1962・昭和37	1961・昭和36	1960・昭和35	1959・昭和34
-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

第14回国民体育大会 東京大会開催(横浜ヨット港) 天皇杯獲得  
東京オリンピック大会開催決定

第15回国民体育大会 鹿児島大会開催 天皇杯獲得(4連覇達成)  
第1回鳥羽パールレース開催(横浜・鳥羽)

第1回全国高等学校ヨット選手権大会開催(宮城県七ヶ浜町)  
第17回ローマオリンピック大会開催

日本ヨット協会会長に山縣勝見就任

東京オリンピックに向け神奈川県準備委員会発足  
横浜ヨットハーバー沖で東京大学生、慶応大学生が練習中に転覆死亡

日本ヨット協会事務所を岸記念体育館内に開設  
第16回国民体育大会 宮城大会開催

初島レースで早稲田大学ヨット部「早風」、慶応大学クルージングクラブ「ミヤ」が遭難し11名死亡  
第1回東京ボートショー開催(主催 日本舟艇振興会)

第1回指導者講習会を実施(熱海市多賀)  
第17回国民体育大会 岡山大会開催

第1回神奈川県高等学校ヨット選手権大会開催(横浜ヨット港)  
東京国際スポーツ大会ヨット競技兼東京オリンピッククリハーサル開催(葉山)

第18回国民体育大会 山口大会開催

第18回東京オリンピック・ヨット競技開催(江の島)大会期間12日間  
神奈川県出身選手はドラゴン級日色輝幸、5.5m級松本富士也・吉田正雄・

萩原毅、スター級石井正行が出場  
社団法人江の島ヨットクラブ設立

葉山マリーナ完成

学習院大学ヨット部「翔鶴」が遭難し5名死亡

NORCが社団法人の認可を受け(社)日本外洋帆走協会と改称

第19回国民体育大会 新潟大会開催

江の島ヨットクラブジュニア委員会設立  
レッツゴーセーリングクラブ設立

第10回スナイプ級西半球選手権(米国)で二宮・川村組優勝  
日本ヨット協会誌「YACHT」復刊

第20回国民体育大会 岐阜大会開催(愛知県蒲郡)

神奈川県立四大学戦に於いて選手1名が出艇時心臓麻痺で死亡  
第1回OAKR(ワン・オブ・ア・カインド・レース)開催

第21回国民体育大会 大分大会開催 16艇種参加

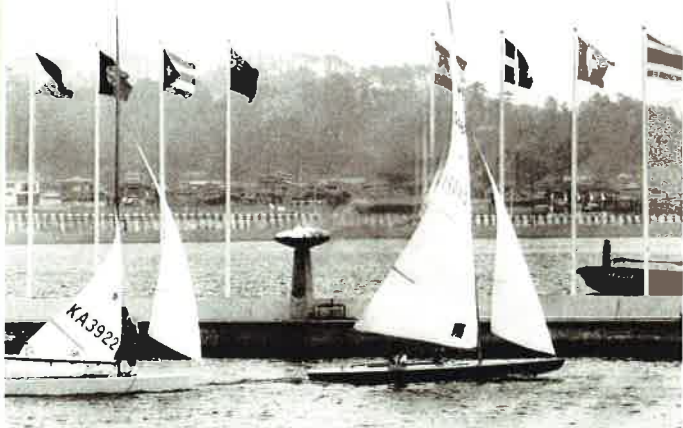
全日本学生ヨット選手権大会開催(江の島)  
三浦市ヨット協会設立

高体連用艇種特別委員会に於いてFJ級の採用を決定  
第22回国民体育大会 埼玉大会開催(茨城県土浦)

第23回国民体育大会 福井大会開催 皇后杯獲得、天皇杯2位  
第1回ネプチューンヨットレース開催(鎌倉・材木座)

第19回メキシコオリンピック大会開催

理事長 柳下 達之(退任)  
理事長 斉藤 隆(就任)



▲1964年 東京オリンピック / 写真提供 © 神奈川新聞

● 皇太子明仁親王殿下御成婚  
● 伊勢湾台風来襲(死者5,098人)

● カラーテレビの本放送開始

● ソ連宇宙船「オーストク1号」ガガーリン少佐  
地球周有人飛行に成功

● 堀江謙一小型ヨット「マーメイド号」で  
太平洋単独横断に成功

● ケネディ米大統領暗殺される

● 第18回オリンピック東京大会開催  
● 東海道新幹線開業(東京-新大阪)  
● 日本人の海外観光渡航自由化

● 朝永振一郎ノーベル物理学賞受賞  
● 北爆からベトナム戦争勃発

● 中国文化大革命

● 欧州共同体(E.C)発足  
● 公害対策基本法公布

● 川端康成ノーベル文学賞受賞

1968 1967 1966 1965 1964 1963 1962 1961 1960 1959

1969・昭和44

第1回神奈川県立大学定期戦開催  
第1回全日本OP級選手権大会開催(江の島)  
第10回全日本高等学校ヨット選手権大会開催(江の島)  
大磯ヨットクラブ設立  
第24回国民体育大会 長崎大会開催

副会長 柳下達之(一)就任  
理事長 斉藤隆(一)退任  
理事長 石田新一(一)就任

● 人類初の月面着陸成功アポロ11号

1969

1970・昭和45

第25回国民体育大会 岩手大会開催 天皇杯3位  
第1回神奈川県民レース開催(江の島)  
学生連盟の新艇種としてA級ティンギーに変わり初級を採用  
第6回アジア競技大会開催(タイ・パタヤビーチ)今回よりヨットは正式種目となる

● 大阪万国博覧会開催(参加7ヶ国)

1970

1971・昭和46

第1回全日本オープンヨットレース開催(鎌倉・材木座)  
第1回バジテスト実施(霞ヶ浦)  
YACHT 5月号よりYRU競技規則解説を連載する  
第26回国民体育大会 和歌山大会開催

● 中国の国連加盟決定

1971

1972・昭和47

第13回全日本高等学校ヨット選手権大会開催(江の島)  
第1回全日本初級選手権大会開催(江の島)  
第20回ミンヘンオリンピック大会開催  
第27回国民体育大会 鹿児島大会開催

● 冬季オリンピック札幌大会開催  
● 沖縄の施政権返還 沖縄県発足

1972

1973・昭和48

第28回国民体育大会 千葉大会開催 天皇杯2位  
堀江謙一単独世界一周へ出港(マーメイドⅢ世)翌年5月帰港

会長 千野純次  
★勲五等旭日双光章受賞

● 為替レートが変動相場制に移行

● 第4次中東戦争勃発でオイルショック

1973

1974・昭和49

インターナショナル505クラス太平洋選手権大会開催(佐島)  
第7回アジア競技大会開催(イラン・テヘラン)  
第29回国民体育大会 茨城大会開催  
社団法人日本マリナー協会設立

● 佐藤栄作ノーベル平和賞受賞

1974

1975・昭和50

第30回国民体育大会 三重大会開催  
太平洋横断単独レース開催(沖縄海洋博協会主催) サンフランシスコ(沖縄)  
国際モス級世界選手権大会開催(沖縄海洋博覧会記念)

会長 千野純次(一)退任  
会長 吉川憲治(一)就任

● ベトナム戦争終結 ● 沖縄海洋博覧会開催

1975

1976・昭和51

第1回全日本少年少女ヨット大会開催(広島県・宮島)  
第21回モントリオールオリンピック大会開催(日本3種目に参加)  
日本ヨット協会会長代行に小沢吉太郎就任  
第31回国民体育大会 佐賀大会開催

副会長 吉川清(一)退任

● 天皇在位50年式典開催

1976

1977・昭和52

第1回オリンピックウィーク開催(江の島)  
40級世界選手権大会開催(浜名湖)16ヶ国、45艇参加  
第32回国民体育大会 青森大会開催

● 国民栄誉賞創設第1回受賞は王貞治

1977

1978・昭和53

第33回国民体育大会 長野大会開催 皇后杯獲得  
クオータートン世界選手権大会開催(佐島)  
レッツゴーセーリングクラブフジノテ設立  
葉山マリナーナブルーアンカージュニアヨットクラブ設立  
第1回海面調整会議開催  
第8回アジア競技大会開催(タイ・バンコク)日本3種目に出場  
日本ヨット協会会長に竹下登就任

理事長 石田新一(一)退任  
理事長 平田豊(一)就任

● 成田国際空港開港

1978

1979・昭和54

第1回レディースカップオープンヨットレース開催(葉山)参加60艇



▲オリンピックウィーク



▲全日本オープンレース

1989・平成元	1988・昭和63	1987・昭和62	1986・昭和61	1985・昭和60	1984・昭和59	1983・昭和58	1982・昭和57	1981・昭和56	1980・昭和55
----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------	-----------

**横浜ジュニアヨットクラブ設立**  
 70級世界選手権オランダ大会で甲斐・小宮組優勝  
 日本ヨット協会会長竹下登大蔵大臣に就任、会長辞任  
 会長代行に山本房生副会長就任  
 第34回国民体育大会 宮崎大会開催

第35回国民体育大会 千葉大会開催 **天皇杯3位、皇后杯3位**  
 第22回モスワフオリピック大会開催、日本選手団不参加決定

第22回全日本高等学校ヨット選手権大会開催(江の島)  
 第36回国民体育大会 滋賀大会開催

**佐島ジュニアヨットクラブ設立**  
 日本ヨット協会創立50周年  
 第9回アジア競技大会開催(インド・ボンベイ)  
 第37回国民体育大会 島根大会開催

第38回国民体育大会 群馬大会開催(東京都・夢の島) **天皇杯2位**

第1回江の島ウィーク開催  
 インターナショナル505クラス太平洋選手権大会開催(江の島)  
 横浜市民ヨットハーバージュニア設立

第23回ロスアンゼルスオリンピック大会開催  
 国際モス級世界選手権大会開催(浜名湖)  
 第39回国民体育大会 奈良大会開催(兵庫県・芦屋)

**インターナショナル505クラス世界選手権大会開催(江の島)**  
 第3回アジアレガッタ開催(韓国)70級、OP級、インタープライズ級優勝  
 第40回国民体育大会 鳥取大会開催

第41回国民体育大会 山梨大会開催 **天皇杯2位**  
 第1回神奈川県ヨット選手権大会開催(江の島)  
 スナイプ級西半球&東洋選手権大会開催(江の島)  
 NORCアメリカズカップ挑戦を決定

第10回アジア大会開催(韓国・釜山)  
 竹下登大蔵大臣を退任、日本ヨット協会会長に復帰

第1回ニッポンカップ国際マッチレース開催(葉山)  
 第1回エメラルドカップオープンレース開催(葉山)参加80艇  
 国際女子70級世界選手権大会開催(佐島)  
 第42回国民体育大会 沖縄大会開催

第1回横浜港ポート天国開催  
 平塚市ヨット協会設立

第24回ソウルオリンピック大会開催  
 第43回国民体育大会 京都大会開催

**YES 89共催でOP級ヨット世界選手権横浜大会開催 参加32ヶ国**  
 70級世界選手権大会開催(二重)  
 第44回国民体育大会 北海道大会開催



▲505クラス 太平洋選手権

副会長 **小林正道** — 就任  
 副会長 **柳下達之** — 退任

元会長 **千野純次** — 逝去  
 理事長 **平田豊** — 退任  
 理事長 **貝道和昭** — 就任

副会長 **福島拳人** — 就任  
 会長 **吉川憲治**  
 ★勲五等旭日双光章受章



▲葉山ジュニアヨットクラブ



▲1989年OPワールド

●英国首相にサッチャー就任(先進国初の女性首相)

●イラン・イラク戦争勃発

●レーガン大統領レーガニックス発表

●福井謙一ノーベル化学賞受賞

●日航機羽田沖墜落事故発生 ●500円硬貨発行

●ハワイアンオープン青木功米ツアー日本人初優勝 ●東京デイズニードランド開催

●植村直己世界初のマッキンリー冬季登頂に成功

●日航ジャンボ機御巣鷹山墜落事故発生

●男女雇用機会均等法施行  
 ●チエルノプリ原発事故発生

●利根川進ノーベル医学・生理学賞受賞  
 ●ブラックマンデー米株暴落

●青函トンネル開業  
 ●瀬戸大橋開通  
 ●リクルート事件発生

●昭和天皇御崩御 年号「平成」と改元  
 ●消費税法施行  
 ●中国天安門事件勃発

1990・平成2

サーフ90共催でインターナショナルファイヤーボールクラス世界選手権大会開催（江の島）  
 国際420級女子世界選手権大会開催（シーボニア）  
 神奈川県ユースヨットクラブ設立  
 第1回全日本A級ティンギー選手権大会開催（葉山）  
 第11回アジア競技大会開催（中国・北京）  
 第45回国民体育大会 福岡大会開催

1991・平成3

第46回国民体育大会 石川大会開催 天皇杯3位  
 第1回海の日記念ヨットレース開催（江の島）  
 藤沢市ヨット協会設立  
 第1回藤沢市オープンレース開催（江の島）  
 葉山町セーリング協会ジュニアレーシングチーム設立  
 国際モス級世界選手権大会開催（宮津）  
 日本ヨット協会会長に秋田博正就任

1992・平成4

第47回国民体育大会 山形大会開催 天皇杯3位  
 ティザー級世界選手権大会開催（葉山）  
 日本初挑戦のアメリカズカップ、セミアフィナルで敗退  
 今給黎教子日本女性初の無寄港世界一周を遂げる  
 グラムレースで14名を失う遭難事故発生  
 第25回バルセロナオリンピック大会開催

1993・平成5

江ノ島ヨットハーバー開放型に改修  
 逗子ヨット協会設立  
 八景島マリナー完成  
 第48回国民体育大会 東四国大会開催（香川県・仁尾）

1994・平成6

第49回国民体育大会 愛知大会開催 天皇杯獲得  
 IBSAワールドドゥインドサーフィンチャンピオンシップ開催（藤沢）  
 第1回スナイプ級ウイメンズ世界選手権大会開催（八景島）  
 IYRUワールドセーリングチャンピオンシップ40級で山田・斉藤組が銀メダル獲得  
 ミストラルクラス世界選手権大会開催（相崎）  
 第12回アジア競技大会開催（日本・広島）  
 白石康次郎（26歳）単独無寄港世界一周最年少記録達成

1995・平成7

第50回国民体育大会 福島大会開催 天皇杯獲得  
 国際女子420級ヨット選手権大会開催（横浜・みなとみらい）  
 横浜ベイサイドマリナー開業  
 KMC横浜ジュニアヨットクラブ設立  
 鎌倉市セーリング協会設立  
 第1回障害者セーリング大会開催（葉山）

1996・平成8

堀江謙アルミ缶ソーラーボートで太平洋横断（エクアドル→東京）  
 第26回アトランタオリンピック大会開催 40級で重・木下組が銀メダル獲得  
 第51回国民体育大会 広島大会開催

1997・平成9

第53回国民体育大会神奈川大会リハーサル開催  
 第27回世界ユースヨット選手権大会開催（福岡）  
 第52回国民体育大会 大阪大会開催

1998・平成10

第53回国民体育大会 神奈川大会開催 天皇杯獲得  
 （江の島・葉山の2海面を使用）



▲1990年 ファイヤーボール 世界選手権大会

● 皇太子明仁親王が天皇に即位  
 ● 湾岸戦争勃発

会長 吉川憲治→退任  
 会長 石井照周→就任

理事長 貝道和昭→退任  
 理事長 昇隆夫→就任  
 元会長 吉川憲治→逝去  
 副会長 貝道和昭→就任

副会長 小林正道  
 ★文部大臣体育功労賞受賞



▲1995年 福島国体



▲1998年 世界大学 ウィンドサーフィン選手権大会



▲1995年 国際420級 女子世界選手権大会

● 阪神淡路大地震発生マグニチュード7.3  
 死者6,432人  
 ● 大江健三郎ノーベル文学賞受賞  
 ● 関西国際空港開港  
 ● 欧州連合(EU)発定参加12ヶ国  
 ● プロサッカー・Jリーグ開幕  
 ● 環境と開発に関する国連会議(地球サミット)開催  
 ● 消費税率5%へ引き上げ  
 ● 国際サッカー連盟2002年のW杯の日韓共催を決定  
 ● 第18回冬季オリンピック長野大会開催

第6回世界大学ウインドサーフィン選手権大会開催(三浦海岸)  
八景島沖で練習中のヨット30艇以上が転覆  
第13回アジア競技大会開催(タイ・バンコク)

NPO神奈川県セーリング連盟設立

日本ヨット協会(JYA)と日本外洋帆走協会が統合し日本セーリング連盟(JSAF)が発足

第54回国民体育大会 熊本大会開催

第55回国民体育大会 富山大会開催 天皇杯2位  
第27回シドニーオリンピック大会開催

第1回トレーニングレース開催(江の島)  
葉山港新港開港  
湘南サニースイードジュニアクラブ設立

国際モス級世界選手権大会開催(銚子)  
国際FJ級ヨット選手権大会開催(温海)

日本セーリング連盟会長に山崎達光就任  
第56回国民体育大会 宮城大会開催

神奈川県セーリング連盟に改称

第1回ノルウェーカップ開催(江の島)

第14回アジア競技大会開催(韓国・釜山)  
第57回国民体育大会 高知大会開催

14フッター級世界選手権大会開催(和歌山)  
第58回国民体育大会 静岡大会開催

第59回国民体育大会 埼玉大会開催 天皇杯獲得  
第1回クリスマスレガッタ開催(江の島)

第28回アテネオリンピック大会開催 初級で関・轟組が銅メダル獲得

愛・地球博記念 国際セーリングシリーズで第42回国際スナイプ級ヨット世界選手権大会開催(蒲郡)

第60回国民体育大会 岡山大会開催

第15回アジア競技大会開催(カタール・ドーハ)  
第61回国民体育大会 兵庫大会開催

第62回国民体育大会 秋田大会開催

第1回鎌倉市長杯レース開催

第29回北京オリンピック大会開催  
イェールオリンピックウィーク初級女子で近藤・鎌田組が優勝  
第63回国民体育大会 大分大会開催

2009国際アクセススティングレガッタ開催(横浜・みなとみらい)  
湘南ジュニアヨットクラブ設立  
神奈川ジュニアヨットクラブワンダラーズ設立

ワールドカップ初級女子で近藤・田畑組が金メダル獲得  
レーザーラジアル世界選手権大会開催(和歌山)

第64回国民体育大会 新潟大会開催



▲2001年 国際モス級世界選手権

副会長 小林正道  
★勲六等单光旭日章受章

副会長 貝道和昭  
★文部大臣生涯スポーツ功労賞受賞

副会長 小林正道 ー 退任  
副会長 福島 拳人 ー 退任  
副会長 岡 昌憲 ー 就任  
理事長 昇 隆夫 ー 退任  
理事長 浜崎 淳次郎 ー 就任

副会長 星野 剛士 ー 就任

副会長 石井 照周 ー 退任  
副会長 岡 昌憲 ー 退任  
会長 貝道 和昭 ー 就任  
副会長 昇 隆夫 ー 就任  
理事長 浜崎 淳次郎 ー 退任

副会長 林 幹雄 ー 就任  
理事長 末木 創造 ー 就任

会長 貝道 和昭  
★旭日双光章受章



▲1998年 第53回神奈川国体 写真提供 © 神奈川新聞



▲2009年 国際アクセススティングレガッタ

● 世界人口が60億人を突破

● 白川英樹ノーベル化学賞受賞

● アメリカで同時多発テロ事件発生  
● BSE(狂牛病)国内初発見  
● 野依良治ノーベル化学賞受賞

● 2002 FIFAワールドカップ開催日韓共催  
● 小柴昌俊ノーベル物理学賞受賞  
● 田中耕一ノーベル化学賞受賞

● 日本郵政公社発足

● 新潟県中越地震発生(マグニチュード6.8)

● 愛知万国博覧会開催  
● 個人情報保護法全面施行  
● 郵政民営化関連法案成立

● トリノオリンピック 荒川静香金メダル獲得 ● WBC大会 王ジャパンV

● サブプライム問題で米経済失速

● 後期高齢者医療制度スタート ● 南部陽一郎ノーベル物理学賞受賞  
● 益川俊英ノーベル物理学賞受賞 ● 小林誠ノーベル物理学賞受賞  
● 下村脩ノーベル化学賞受賞

● 裁判員制度スタート





編集委員

青木	幹隆	貝道	和昭	今野	雅国
末木	創造	昇	隆夫	平野	豊
藤田	時彦	松原	宏之	横田	雅信

(アイウエオ順)